



令和4年 6月 / 日

渋谷区議会議長 斎藤竜一 殿

紹介議員

伊藤 毅志 吉田 佳代子 小田 浩美

五十嵐 千代子 金子 快之

羽田新飛行ルート下における氷塊落下の原因究明を求める請願

昨年は羽田新飛行ルート運用停止を求めた請願と意見書を全会一致で採択いただき、誠にありがとうございました。

しかし未だ運用停止が実現されない中、私たちが最も危惧した事案が発生しました。

本年3月13日、羽田新飛行ルート下、本町一丁目のプレイ中の大正テニスコートに氷塊が落下しました。当日は晴天でヒョウが降った記録もなく、事故直後の氷塊を写した写真では、コートに日差しが差し込んでおります。

国土交通省は、飛行ルートの距離と航空機の整備記録により、航空機に起因するとは言えないと幕引きの姿勢であり、事故に遭遇した当事者の納得も得られていません。

国土交通省は当該時刻に航空機が通過したことは認めており、知人の熟練した元航空整備士は、車輪からの氷塊と考えられ、この場合跡は残らないと言っています。


国土交通省が氷塊落下の原因究明をしない姿勢であれば、人身事故が発生した場合、加害者を特定できない状態を放置することになります。

国には電子航法研究所など研究する機関があります。正確な飛行ルート、ギアダウンの位置、ビル風や気流の流れなど、今回の氷塊落下事故について、住民が納得のいく調査が必要です。

よって、渋谷区議会に対し以下の事項を請願いたします。

請願事項

国に対し氷塊落下の原因究明をするために、国側、住民側がそれぞれ推薦する専門家によるプロジェクトチームを設置して原因解明するよう求めてください。

渋谷の空を守る会 共同代表 須永知男 

〒150-0021 渋谷区恵比寿西2-17-3 090-8806-4064

令和4年
請願・陳情
受理第13号

